

第5回温泉調査<大津温泉・びわこ座>～古琵琶湖ラドンの湯

活動日 2024年4月30日

参加人数 6名

行程

レイカディア大学 → 岩間寺 → 大津温泉(古琵琶湖ラドンの湯)→

レイカディア大学

概要

大津市の南西部、石山千町から山間の急な斜面を登っていくと、岩間山(標高 443m)の頂上付近に岩間寺があり、西国三十三ヶ所、第12番札所の寺。真言宗醍醐派岩間山正法寺が正式名となっている。本尊千手観音は每晚136の地獄を汗まみれで、廻ったことから「汗かき観音」と呼ばれ、苦しむ衆生を済度し、汗まみれになっていた事に由来している。又付近の天狗杉は黒龍王が住まわれた大杉で心願成就の杉とされている。寺の横には、松尾芭蕉が「古池や蛙飛び込む水の音」を詠んだ事で有名な池が現存している。(諸説あり)



岩間寺を後に戻る方向に約 30 分国道一号線沿いに、大津温泉・びわこ座がある。この温泉は地下 1500m より汲み上げた湯が 22.5 度しかない為、加温されている。ラドン温泉は全国の温泉で見ると 7% と少なく、貴重な温泉で、ラドンはラジウムが変化するときの過程でできる放射線で水に溶けやすく、無味無臭無色の気体で、体に取り込む事によって細胞が活発化し、身体本来の機能を取り戻し病気を治すと言われている。

入浴による効果は高尿酸血症(痛風)・関節リュウマチ・強直性脊椎炎などに効果が期待される。又放射能泉のホルミス効果(新陳代謝の向上・免疫力の向上・抗酸化作用効果の向上が期待される効果)も提唱されている。更に放射能泉は「吸う温泉」とも言われ、温泉から発生するラドンを呼吸と共に体に取り込む事により療養泉としても期待されている。

ラドン温泉を充分堪能し、車で 10 分足らずのレイカディア大学へ戻りました。